

# ヒントは、 現場にある。

## 6次産業化マイスター 育成プログラム

### 事業概要

現在、青森県では、青森が世界に誇る「食の豊かさ」に着目して、農水産品の6次産業化を進める「食でとことん」プロジェクトを実施しています。

平成29年度から、弘前大学は「食でとことん」に代表される6次産業化をさらに推し進めるために、6次産業化の現場で「即戦力」として働くことができる人材を育成する新しい教育プログラムを実施します。

### 対象学生

**弘前大学の1～2年生が対象です。**

農水産品の6次産業化に関心のある学生、青森を舞台として卒業後に即戦力として活躍したい学生、青森の未来を切り開く「志のある公務員」を目指している学生の参加を期待します。弘前大学の学部1～2年生が対象です。学部は問いません。

10 / 19 木

### 参加者募集

本プログラムに関する説明会を開催します。  
ぜひ説明会に参加してください。

12:00～12:30

総合教育棟 208講義室

17:40～18:10

農学生命科学部 203講義室

## 履修推奨科目

本プログラムは、授業とインターンシップの2つの部門で構成されています。

授業は本年度前期から開講しています。

本プログラムに関心のある学生は、まず以下にあげる履修推奨科目を受講してみてください。

### 青森の自然－青い森の食材機能学－ 前期

青森県はりんご、カシス、ごぼうなど生産量日本一の食品がたくさんあります。本講義では県産食材の最新の健康機能性について学びます。また機能性食品などの健康機能性を生かした付加価値の高い食品の開発事例について紹介し、食品素材の特徴を生かした地域産業を活性化の方法について考えます。

### 青森の自然－食育概論①②－ 後期

本講義では、田畑の土と肥料、農薬・遺伝子組み換え作物の安全性や、青森県の主要農産物の栽培方法・流通などについて総合的に学びます。また、青森県の事例を中心に、食物栄養や生活習慣病についてもあわせて学習します。

### 青森エクスカッション 前期 －青森県のイトコ発信！①②－ 後期

本講義では青森県の隠れた優良企業に対する調査を実施します。調査にあたって、文章の読み方や書き方といった基本的なスキルや、インタビューやアンケートといった社会調査の方法論についても学びます。

### 農学の世界－入門・果物の経済学－ 前期

農業は、農産物を作る営みであるだけでなく、農産物をお金に換える営みでもあります。人々の生活を豊かにするだけでなく、農家の生活を維持する営みです。青森県において生産される主要な農産物であるりんごを題材に、生産、流通、加工、消費、貿易等の各側面について、経済的な視点から学びます。

本プログラムには、このほかにも様々な「おすすめ授業」が含まれています。「おすすめ授業」の詳細については、10月19日(木)の説明会でお知らせしますので、後期の授業の受講を検討してみてください。

## インターンシップ

青森りんごを使った商品開発に挑戦します。

本インターンシップでは、「次世代のりんご加工品を探れ!!」をテーマに、青森県の農業経済に関するワークショップや、りんごの生産・加工・流通の現場体験を経て、りんごを使った商品開発に取り組みます。



#### ■りんご生産・加工・流通の現場体験

#### ■りんご加工品の商品開発

商品開発については、本学の教員も指導・支援にあたります。

## 問合せ先

本プログラムについての問合せ先

弘前大学COC推進室 西村君平

TEL 0172-39-3863 E-Mail k-nishi@hirosaki-u.ac.jp